

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
 山陽自動車運送株式会社 新京都支店新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		<b>Q1 建築物の環境品質</b>						<b>2.4</b>	
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.30</b>				<b>2.7</b>		
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15				<b>3.0</b>		
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40						
1.2 遮音		3.0	0.40						
1 開口部遮音性能		3.0	0.60						
2 界壁遮音性能		3.0	0.40						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音		3.0	0.20						
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.3</b>	<b>0.35</b>				<b>2.3</b>		
2.1 室温制御		2.5	0.50						
1 室温		3.0	0.38						
2 外皮性能		1.0	0.25						
3 ソーン別制御性		3.0	0.38						
2.2 湿度制御		1.0	0.20						
2.3 空調方式		3.0	0.30						
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.5</b>	<b>0.25</b>				<b>2.5</b>		
3.1 昼光利用		3.6	0.30						
1 昼光率	2.0% ≤ [昼光率] < 2.5%	4.0	0.60						
2 方位別開口									
3 昼光利用設備		3.0	0.40						
3.2 グレア対策		2.0	0.30						
1 昼光制御		2.0	1.00						
3.3 照度		1.0	0.15						
3.4 照明制御		3.0	0.25						
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.4</b>	<b>0.25</b>				<b>3.4</b>		
4.1 発生源対策		4.0	0.50						
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	4.0	1.00						
4.2 換気		2.6	0.30						
1 換気量		3.0	0.33						
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上	4.0	0.33						
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33						
4.3 運用管理		3.0	0.20						
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50						
2 喫煙の制御		3.0	0.50						
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>				<b>3.0</b>		
<b>1 機能性</b>		<b>2.5</b>	<b>0.40</b>				<b>2.5</b>		
1.1 機能性・使いやすさ		2.6	0.40						
1 広さ・収納性		3.0	0.33						
2 高度情報通信設備対応		2.0	0.33						
3 バリアフリー計画		3.0	0.33						
1.2 心理性・快適性		2.3	0.30						
1 広さ感・景観	事務室の天井高2.7m以上	4.0	0.33						
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33						
3 内装計画		1.0	0.33						
1.3 維持管理		2.5	0.30						
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50						
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50						
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.0</b>	<b>0.30</b>				<b>3.0</b>		
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80						
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20						
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30						
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	20年以上	5.0	0.10						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用。	5.0	0.20						
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20						
2.4 信頼性		2.6	0.20						
1 空調・換気設備		3.0	0.20						
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20						
3 電気設備		3.0	0.20						
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20						
5 通信・情報設備		2.0	0.20						

<b>3 対応性・更新性</b>			3.9	0.30		-	3.9
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30		-	
1 階高のゆとり		3.9m以上	5.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ		[壁長さ比率] < 0.1	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり		3500N/㎡以上~4500N/㎡未満	4.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.40		-	1.7
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40		-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30		-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							3.6
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40		-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			1.0	0.00		-	1.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.48	5.0	0.62		-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.25		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
集合住宅の評価			-	-		-	
4.1 モニタリング			-	-		-	
4.2 運用管理体制			-	-		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30		-	3.0
1 水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60		-	3.0
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		押出法ポリスチレンフォーム保温板、ビニル床タイル	4.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50		-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30		-	3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率: 74%	4.0	0.33		-	4.0
2 地域環境への配慮			2.9	0.33		-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	1.00		-	
2 振動			-	-		-	
3 悪臭			-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制			-	-		-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		「光害対策ガイドライン」、「広告物照明の扱い」の過半を満たしてい	5.0	0.70		-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	